

みずなら

日本将棋連盟札幌中央支部（札幌市中央区北3西2NCビル2Fみずなら）
011-788-9215
FAX011-788-9215

将棋サミット in 秋田市

平成22年11月20日（土曜）秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市）において、日本将棋連盟による将棋指導者講習会が行われた。

札幌中央支部からは**工藤学支部長**が出席した。

将棋サミットは全国で順次行われている。今年度は秋田、富山、名古屋、佐賀、出雲など。

将棋指導者講習会は、かつては全国の将棋普及指導員らを一度に東

京に集めて行われていたが、遠方からの参加者にとつては日程・交通費等が負担となる。これに配慮して、

米長邦雄会長らの計らいにより全国各地で行われることになり、逆に米長会長ら役員が各地に赴く

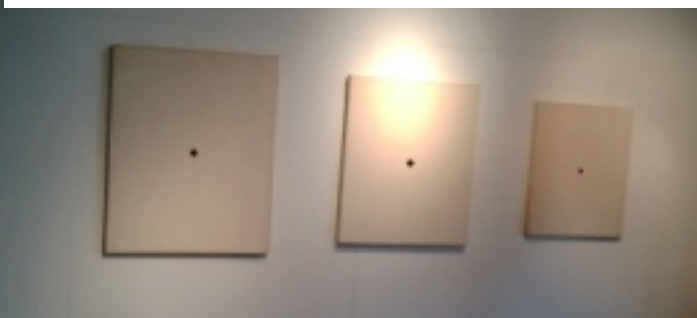
佐佐木方斎展

11月2日（土）14日、札幌中央支部副支部長の佐々木方斎氏の個展が札幌市北区のギャラリーで開催された。テーマは「逆絵画」。絵画は普通、キャンパスにどんどん描き加えていつて表現するが、「逆絵画」ではあえて描くものを削っていくという。

【下写真】御自身の版画集を紹介する方斎氏



佐佐木方斎展 「逆絵画」



会報『みずなら』の編集長のブログ

こととなった。

【秋田県連 山崎将明会長の講演】

東北六県で行われる大会の紹介。

「東北六県将棋大会」は64回の歴史があり棋友が楽

しみにしている大会である。団体戦3人1チームで行う。1組6組を作り各組16チームで争い4チーム昇格4チーム降格。

「秋田全県大会」代表64名で争う。アマ名人戦と同様に選手32名で決勝トーナメントを戦う。

秋田には17支部あり支部代表を2名出し山梨県支部代表と争い2県代表を輩出して東北の他県代表と争つ

て順位を決める大会もある。普及活動

山崎県連会長は新聞社を退職後、駅前に道場を開き毎週土曜日に36名もの児童・生徒に指導している。

入門コースと上級者コースを二名で受け持っていて、奨励会にチャレンジする子もいて楽しみだという。

【報告・工藤学支部長】

札幌中央最強戦・予選

【結果・優勝者】

（11月20日）八重樫正見

（11月21日）本間悠司

【詰将棋】

5手詰 作 山下弘人

▲金銀二

6	5	4	3	2	1	
			王	将	皇	一
						二
	と				飛	三
	馬					四
						五

【棋書探訪】

『5五の龍』（つのだじろう作／少年画報社発行／昭和53年、昭和56年刊）

主人公の中学生・駒形竜がライバル達と共にプロ棋士を目指して奨励会で奮闘する少年漫画。

元奨励会二段の父は真剣師。駒形竜は、賭け将棋で身を持ち崩し貧乏暮らしの父に反発して、はじめは将棋を嫌っていたが、やがて中学生名人戦に出場する。そこで角道道夫、穴熊虎五郎、棒銀三郎、虎斑桂らライバル達と出会い、刺激を受け奨励会入会試験に挑戦する・・・。

随所に関屋喜代作六段の詰将棋や次の一手が出題されている。またストーリーイ中の局面作成に女流棋士の蛸島彰子四段（当時）が協力していたり、大内九段や米長九段の棋書を題材にしていたり、指し手・局面も本格的だ。

お城将棋の話や奨励会、プロ棋戦などの話題も多く、子供や初心者が将棋界を知る教材にもなり得る好書だ。



桜庭篤将棋研究会（毎週水曜）18時～

全道将棋選手権者：桜庭篤氏主宰の研究会。強豪同士の実戦対局&感想戦による練磨の場。3連勝者に与えられる景品も励みに。11月中の3連勝者は、渡部愛さん、西村福太郎さんら。

渡部愛 v s 西村福太郎



【詰将棋】
七手詰：作 山下弘人

▲金銀二

6	5	4	3	2	1
			王	将	皇
	と			馬	
	馬		馬		飛



【将棋サロン&カフェみずなら】開店2周年を記念して賞品・景品盛りだくさんの将棋大会が10月の毎週土日に行われた。

開店記念将棋大会結果

（敬称略）

級位者大会：優勝者
10月3日優勝 井上源太

- 10月10日：川崎 陽平
 - 10月17日：高橋 涼太郎
 - 10月24日：木下 芳彰
 - 梅田 直樹（ハンデ戦）
 - 10月31日：大和 達也
 - 段位者大会 結果
 - 10月2日：西村福太郎
 - 10月9日：佐藤 重信
 - 10月16日：船尾 力
 - 10月23日：佐藤 重信
 - 10月30日：井上源太
- 賞品・景品は鈴木大介八段直筆サイン入り棋書や駒師

の高山氏による駒型の根付けなど。

編集後記

棋書探訪で取り上げた『5五の龍』は三十年以上前の作品だが、子供時分に楽しく読んだ記憶がある。これに刺激を受けて将棋を始めた棋友もいる。この漫画を小学生の時に読んでいたなら、羽生世代であろうか。（文責・編集長山下弘人）